

みどり

秋

No.166



海辺にたたずむ国登録有形文化財

旧長濱検疫所一号停留所

「人々の暮らしを守った」旧長濱検疫所一号停留所の歴史

旧長濱検疫所一号停留所は、明治28(1895)年3月に完成した長濱検疫所(現横浜検疫所)の停留施設です。長濱検疫所では、横浜港に入港する船舶や船員、船客の検疫を行い、感染症の有無を確認するため、上等船客や船員が一号停留所に一定期間停留していました。

大正12(1923)年の関東大震災により被害を受けましたが、一号停留所は比較的被害が少なく、速やかに復旧工事が行われ翌年には復元されました。検疫施設としての役割を終えた後も、検疫所に関連する資料や当時の器具等を展示する資料館として活用されるなど、長くその歴史を伝えてきました。



長濱検疫所(全景)

◆検疫とは？

検疫とは、海外から感染症が国内へ持ち込まれることを防ぐために、入国する人や船舶、貨物などを検査し、必要に応じて消毒や停留(隔離)を行う水際対策のひとつです。



「日本検疫施設として最古の建物」文化財としての価値

長濱検疫所は、同検疫所の前身である長浦消毒所を引き継いだ日本の検疫施設最古の建物の一つであり、中でも一号停留所は建築デザインに優れた施設とされています。平成30(2018)年には、横浜最古級の洋風建築としての価値が認められ、国の登録有形文化財に登録されました。現在の一号停留所は、海の公園への移築に際して見つかった壁紙や、移築前に使用されていた木材などを再利用しています。



一号停留所



食堂

海辺にたたずむ国登録有形文化財 旧長濱検疫所一号停留所

8月10日から一般公開

横浜港の発展を支え、人々の健康を守るために重要な役割を果たしてきた検疫。その歴史を今に伝えるのが、令和7(2025)年に金沢区長浜から海の公園内に移築された「旧長濱検疫所一号停留所」です。一般公開されたばかりの、未来へ受け継がれる歴史的建造物の魅力をご紹介します。



旧長濱検疫所一号停留所 基本情報

所在地	横浜市金沢区海の公園 10 番	入館料	無料
開館時間	5 月～ 10 月 8:00～21:00 11 月～ 4 月 8:00～19:00	アクセス	シーサイドライン「海の公園南口」駅
休館日	不定休	お問合せ先	海の公園管理事務所 TEL: 045-701-3450 スターバックス コーヒー 横浜海の公園店 TEL: 050-9002-2089
駐車場	海の公園磯浜駐車場(最寄り) 柴口駐車場		



館内の楽しみ方

☕ カフェスペース

歴史とコーヒーが会い、特別なひととき

大切に受け継がれてきた歴史的建造物の中に、「スターバックス」がオープンしました。歴史を感じる建物でコーヒーを楽しみながら、日常のひと時を少し豊かに。誰もが気軽に訪れ、親しみを感じられるくつろぎの空間です。



🖼️ 展示スペース

旧停留室は建物や検疫の歴史を伝えるパネルを展示しています。



🪑 休憩スペース

海辺の景色を楽しめる旧談話室とサンルームは休憩スペースとして開放しています。



◆野口英世と長濱検疫所

野口英世 ▶
(公財) 野口英世記念会提供

細菌学者として知られる野口英世も長濱検疫所に勤務していました。明治32(1899)年に、細菌検査室検疫医官補として勤務しており、その期間中、入港した船内にペスト患者を発見したことが評価され、研究者として頭角を現す重要な出来事となりました。



旧細菌検査室
(横浜市長浜ホール提供)

この細菌検査室は、現在金沢区内の長浜野口記念公園内に保存され、野口英世のゆかりの研究施設として現存する唯一の建物とされています。



旧細菌検査室の 情報

横浜市金沢区長浜114-4 長浜野口記念公園内
開館時間 9:00～17:00
休館日 第3月曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12月29日～1月3日)



通な見どころ

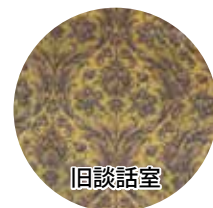
① 下見板張りの外壁

建物の外壁は、横向きの板を一枚ずつ重ねて張る「下見板張り」になっています。洋風建築らしい軽やかな印象を与える意匠で、明治時代の洋風建築によく見られる特徴の一つです。



② 壁紙

移築前の建物解体時に発見された大正期のものと思われる壁紙の一部を、旧談話室と旧食堂の内装に活用しています。それぞれ異なるレトロなデザインに注目です。



旧談話室



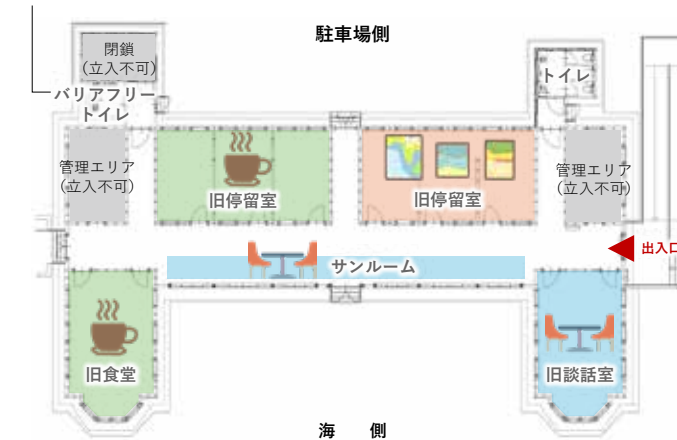
旧食堂

③ 板ガラス

サンルームなどの窓ガラスの一部に移築前の一号停留所で使われていた波板ガラスが再利用されており、一枚ずつ異なる風合いが建物の趣を引き立てます。



カフェで利用の方はバリアフリートイレをご利用いただけます。
※見学のみの方は海の公園のトイレをご利用ください。



※一部を除きすべての部屋を見学いただけますが、カフェスペース内のテーブル・椅子はカフェ利用者のみご使用いただけます。

横浜グリーンエキスポ 連携イベント ギネス世界記録®に挑戦！ 球根ミックス花壇づくりで仲間になろう！



OFFICIAL
CHALLENGE

横浜グリーンエキスポ会場を中心に、横浜公園会場、新横浜公園会場、金沢自然公園会場、反町公園会場をオンライン中継でつなぎ、一斉に球根を植える人数でギネス世界記録®に挑戦します！ 多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

挑戦内容

同時に球根を植えた最多人数（複数会場）

本挑戦記録におけるオンラインによる同時中継での挑戦は世界「初」の挑戦記録となる予定です。参加者の皆様が植えた球根は、2027年の春に色とりどりの花々となり、横浜グリーンエキスポ会場や、市内の公園を鮮やかに彩ります。

開催日

2026年 11月14日（土）

参加者募集期間

2026年 10月9日（金）まで



GREEN × EXPO 2027
公式マスコットキャラクター
トゥンクトゥンク

応募はコチラから



GREEN × EXPO 2027
横浜市出展
横浜市民活動フィールド

※応募者多数の場合は抽選となります。

主催 横浜市、GREEN × EXPO 2027 横浜市民活動フィールド実行委員会
共催 公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会
公益財団法人 横浜市スポーツ協会

横浜ならではのコラボレーションが実現

GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

通信 第11回

よこはま動物園ズーラシアにオフィシャルストア

「よこはま動物園ズーラシア」に今年4月にオープンした「EXPO2027 オフィシャルストア ズーラシア アクアテラス店」をご存じですか？ 花と緑、そして動物たちの魅力が詰まった、GREEN×EXPO 2027のワクワク感を体験できるオフィシャルストアです。

本店舗では公式ライセンス商品のほか、公式マスコットキャラクター「トゥンクトゥンク」がズーラシアで人気のオカピたちと一緒に自然の中で楽しそうに過ごす様子を商品化したコラボレーショングッズを発売中です。トゥンクトゥンクの上にオカピが乗ったかわいいぬいぐるみ「ちょころんトゥンクトゥンク&オカピ」や、トゥンクトゥンクやオカピを腕に着けて楽しめる「くるりんずトゥンクトゥンク」など、ここでしか手に入らない限定商品が多数並んでいます。

店舗は正門近くにあり、ズーラシアへのご来園とあわせてお気軽にお立ち寄りいただけます。トゥンクトゥンクグッズを身に着けてGREEN×EXPO 2027と一緒に盛り上げましょう！ 詳しくは、GREEN×EXPO 2027の公式ホームページをご確認ください。



オフィシャルストア
公式HP

コラボレーショングッズ

基金 だより

寄付団体

「よこはま緑の街づくり基金」は横浜市内の民有地の緑化を市民の皆様の手によって進めるために市民・企業・団体等からの寄付を積み立て、その運用益で市民の皆様の緑化活動を支援しています。

2026年5月1日～7月31日に寄付をいただいた団体（順不同、敬称略）

あったかや、アジア・キッズ、コマデリ、移動カフェ thanks milk、アートモビル株式会社、キナリノワ、フードトラック、シュタットシンケン、有限会社相澤良牧場、MonaMona、アンドセジュール、川崎信用金庫、よこはまシニアボランティアポイント事業登録者（37名）、イツツ・コミュニケーションズ株式会社、株式会社横浜銀行 横浜バンクカード会員、有限会社コーエー環境緑化、市内募金箱ご協力の皆様

2026年7月31日までの積み立て総額は20億8,619万9,380円です。

区役所等に募金箱を
設置しています。



基金の果実（利息）は、市民の皆様の緑化活動に活かされています。

よこはま緑の街づくり基金にご協力をお願いします。（ご寄付は税制上の優遇措置が適用されます）

●寄付金の振込先 ▶ 横浜銀行本店 普通No.0381642 受取人：（公財）横浜市緑の協会
●お問合せ先 ▶ （公財）横浜市緑の協会 緑化推進課 TEL：045-228-9470 FAX：045-641-0821

季刊誌みどり 秋号 2026年10月1日発行

編集発行／公益財団法人 横浜市緑の協会
〒231-0021 横浜市中区日本大通58 日本大通ビル2階
TEL：045-228-9420 FAX：045-680-2031
デザイン・印刷／善友印刷株式会社



GREEN×EXPO 2027を
応援しています

